一般社団法人　山梨県理学療法士会会報誌　▸▸▸ 令和2年9月

supporters サポーターズ

No.156 2020秋号

一般社団法人 山梨県理学療法士会ホームページ　http://ypta.jp/　会員数918名　施設数132（R2.8.19現在）

「supporters（サポーターズ）」とは…　我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味のsupporterに複数形のsを加え、supporters：支える人たち（造語）の意味です。

新型コロナウイルス感染拡大の中、会員の皆様におかれましては日々の業務に多大なご苦労を強いられていると思います。頭が下がるのみです。さて本誌もわずかばかりのコロナ禍にて通常の企画は成り立ちませんでした。

そこで「どうする？・どうなる？士会活動」をテーマに、諸先生方から「新しい生活様式」を踏まえた士会活動のビジョンを伺いました。本誌が会員の皆様と県民の健康を守る議論の種となれば幸いです。

一般社団法人
山梨県理学療法士会
会長　小林　伸一

会長あいさつ

コロナ禍において、ＰＴ協会・関ブロ・士会活動のすべてがストップしました。災害が頻発し緊急事態に備えて何らかの対策を取らないと…と言う話は理事会でも出ていましたが、現実予想だにしない事態となり、“やれ困ったぞ”状態に陥りました。士会活動は士会員の年会費で活動が成り立っていますので、例年通りとは行かなくても何らかの活動を実施しなくてはならない、でもできないと言う歯がゆい思いでいました。

しかし理事会や部局・委員会の Web 開催、学術局では Web 研修会の検討も始めました。また、７月１７日理学療法の日の新聞広告、士会創立５０周年記念事業実行委員会、士会支部設立推進局等々部局・委員会も動き始めています。今後もできることから粛々と活動していきたいと思います。さて、本題の「どうする？・どうなる？士会活動」ですが、①士会活動は、“できることから粛々と”②会議・研修会開催の簡素化（ICTの利用した Web 会議・研修会）③危機管理の整備（案）　情報収集・集中：事務局　対策：三役会議（監事含む）

指示：三役会議⇒理事会⇒ホームページ

これを機に色々検討していきたいと思います。

引き続き士会員の皆さんのご理解・ご協力を、理事会を代表し切にお願い申し上げます。

CONTENTS

会長あいさつ …… 1
定期総会報告 …… 2
「新しい生活様式」を踏まえた士会活動を考える …. 3〜5
● 学術担当理事　高村浩司副会長
● 事業担当理事　三科貴博副会長
● リハビリテーション専門職団体協議会担当理事
磯野　賢副会長
新型コロナウィルスにかかわる感染防止対策 …. 6〜7
●山梨大学医学部附属病院　●山梨県立中央病院
新型コロナウィルスにまつわる教育現場の大改革 …. 8〜9
●帝京科学大学　●健康科学大学
活動報告　お知らせ　●事務管理局 ……10〜11
リレーエッセイ Part38 ……12〜13
原稿募集 …… 12　編集後記 ……13

令和２年度　一般社団法人山梨県理学療法士会

定期総会報告

令和２年５月１９日（火）に行われた、一般社団法人山梨県理学療法士会　令和２年度定期総会についてご報告いたします。

１、定足数の報告、出席者・委任状について

４月３０日現在、正会員数８７７名に対して

・出席者数２３名（うちオンライン参加１６名）

・委任状数６０８名　　よって、定款第２１条に則り総会は成立いたしました。

２、議事　　提案されたすべての議事については、承認されました。

３、次期役員について

定款第３１条及び３１条２項により役員改選時期となりました。

一般社団法人山梨県理学療法士会役員（理事・監事）候補選挙管理規定第５条に則り、４月２０日に告示した通り、理事１４名、監事２名の立候補があり、この結果同規定第８条により無投票当選となりました。

・理事（届け出順、敬称略）

北山　哲也、名取　大輔、平賀　篤、小林　司、菊池　信、小林　伸一、
髙村　浩司、古屋　伴仁、磯野　賢、井村　順治、大西　正紀、
有泉　静佳、三科　貴博、鈴木　聡

・監事　（届け出順、敬称略）

谷村　英四郎、斎藤　智雄

４、役員配置について

同日行われた令和２年度第１回理事会において、小林伸一先生が代表理事（会長）に就任いたしました。

小林会長の指名によって、副会長には、磯野賢先生、髙村浩司先生、三科貴博先生、小林司先生の４名が就任いたしました。

なお各局長は以下のとおりです（敬称略）

事務管理局長：有泉静佳、企画局長：井村順治、学術研修局長：名取大輔、生涯学習局長：北山哲也
学術大会局長：菊池信、社会局長：古屋伴仁、
福祉厚生局長：鈴木聡、広報局長：大西正紀、士会支部設立推進局：平賀篤

新型コロナウイルス感染拡大のため、会員の皆様には総会への参加の自粛と書面による決議権の行使をお願いしながら、小林会長の他必要最小限のスタッフは総会会場である事務所にて、そのほかの執行部役員はオンライン会議での参加と異例ずくめとなりました。

本来ならば、早急に会員の皆様にお知らせすべきところ報告が遅くなりましたこと、お詫びいたします。

定期総会議事録については、当士会 HP に掲載してありますので、併せてご覧ください。

事務管理局 局長 **有泉 静佳**
（山梨県立あけぼの医療福祉センター：Yamanashi.pt.jimu@gmail.com）

WITH CORONA

どうする？
どうなる？
士会活動

「新しい生活様式」を踏まえた士会活動を考える

山梨県理学療法士会
学術担当理事・副会長
高村　浩司

『学術担当理事の立場から』

士会員の皆様におかれましては、各所において過去に経験のないご苦労をされていることと拝察いたします。

山梨県理学療法士会の学術活動におきましては、これまでも理事会にて継続的に審議されてきましたが日本理学療法士協会の方針に準じた対応をとってきました。結果的には、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、上半期の学術活動はほぼすべてにおいて停滞を余儀なくされ、皆様もご存じの通り 9 月末日までの学会や研修会は延期ないしは中止となりました。この原稿を書いている現時点では、研修会開催指針ステージ 2 となっておりリモート開催が推奨されている状況です。この指針は社会情勢により今後も変更されますので協会ホームページのトップページを随時確認、お願いいたします。

今後の動向について現時点で分かっていることとしては、10月以降に対面研修が可能になれば、研修会等の開催方法や参加費に関して積極的な工夫をして開催する方針ということが協会長より示されています。また、新人教育プログラムに関しては今般の影響により、対面研修の機会が失われている実態を鑑みて、新人教育プログラム単位取得可能コンテンツの拡充が行われています。今回のコンテンツの追加により、e- ラーニングのみでも新人教育プログラムを修了できることになりますので該当の方は協会および当士会のホームページより確認し受講を進めていただくようお願いいたします。

また、山梨県士会独自の学術活動に関しては、1 年を通じて会員皆様の学びの機会がなくなることがないよう現在オンラインによる研修会開催のシステムを構築し、できるだけ早期の開始を計画しています。しかしながら、理学療法士の学びは座学だけでは習得できるものではありませんので事態の収束状況を見ながら適宜、実技系の研修会も再開できるよう感染対策マニュアル等を整備し準備を進めていきます。皆様におかれましては、引き続き当士会の学術活動に対しご理解とご協力をお願いいたします。

WITH CORONA

「新しい生活様式」を踏まえた士会活動を考える

どうする？
どうなる？
士会活動

『事業担当理事の立場から』

山梨県理学療法士会　事業担当理事・副会長　三科　貴博

７月下旬の現状にて、東京都をはじめ関東圏の都市部では新型コロナウィルスの新規感染者が増加し第２波の様相を呈しております。本士会の社会局、福祉厚生局においても対面で行う事業は軒並み中止となっており停滞を余儀なくされております。感染対策の基本的な対応は厚生労働省や日本理学療法士協会から発信されるガイドライン・指針に従いつつ事業展開を考えなければなりませんが、相手もある中で全てをオンラインでのものに移行することは理解と時間が必要と覚悟しなくてはなりません。

不幸中の幸いと言うべきか広報局、士会支部設立推進局においては、一部事業には影響が出ておりますが、3 密に影響されることなく web 上での事業推進が可能なものもあります。本稿が日の目を見るのであれば会報部の努力によりしっかりと今年も会報の編集・発行事業が行われている証になろうかと思います。広報部では過日「理学療法の日」の新聞紙上キャンペーンを行いました。スポーツ PT 部においても夏以降一部事業再開の兆しも見えてきており、with コロナに移行する中で順次感染対策には万全を期しながら各事業が再開してくるものと期待しております。

新・転入会なされた会員の皆様に対して事業活動が見えにくくなっていることは否めません。本来であれば入会初年度より積極的に事業への参加・協力を呼び掛けたいところですが、おそらく本格的な事業展開は来年度以降になろうかと思います。（もっと早いことを祈っていますが）その折には改めて全会員のご理解とご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

WITH CORONA

「新しい生活様式」を踏まえた士会活動を考える

どうする？
どうなる？
士会活動

『山梨県リハビリテーション専門職団体協議会理事の立場から』

山梨県理学療法士会
山梨県リハビリテーション専門職
団体協議会担当理事・副会長
磯野　賢

このコロナ禍の中、誰もが制限された生活を送られていることと思います。また、セラピストは社会からその制限を一層強く求められることもあり、より強く自制したものとなっていることでしょう。このような中で、リハビリテーション専門職団体協議会活動の在り方をどのように考えていくかは本当に難しいことです。考えてみてください。実習に出ることさえ許されない学生が大多数であることがセラピストの法整備以降あったでしょうか。

新型コロナの対応として、今年度は、６月９日に Web で理事会を開催し、事業計画の目玉となっていた、合同学術大会延期を決定し、来年度実施することとしました。

また、各委員会の事業計画もありますが、本当に実施可能なのか、どうすれば実施できるのか、各委員会にて実施に向けた検討をしてもらうこととしました。

そして、県からの委託事業等についても例年のような実施は困難と判断し、方法の検討が必要となりました。

さらに、POS バンク活動で各地域包括支援センターで開催されていた自立支援型地域ケア会議も中断しました。普及啓発を支援してきた「いきいき１００歳体操」もそのほとんどが中止となりました（今少しずつ始まってきています）。国を挙げて通いの場を増やし、身近な場所で交流ができるようにと進めてきた取り組みも止まった状態にあります。

こういう時だからこそ、現状を正しく捉え、前向きにもう一度、県民に対して何ができるのか、会員に対して何ができるのか考えていくことが大切だと思います。今、具体的にこれはこうしますとお伝えできればいいのですが､その状態にはありません。ただ「できない」から「こうすればできる」に考え方を切り替えて行きたいと思います。

誰も経験したことがない状況の中、正解不正解は、わかりません。是非、皆さんからもアイデアをいただき、知恵を出し合い一丸となって取り組んで行きましょう。

新型コロナウィルスにかかわる
感染防止対策

山梨大学医学部附属病院

リハビリテーション部
八木野　孝義

今回、山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部の７ /２０現在までの新型コロナウィルス対策についてご報告させていただきます。

＜大学病院では＞

院内入口に体温計測用カメラを設置し、来院者全員の体温測定を行っております。
医療者に関しては６月下旬に健康チェック（検温、体調）は１度終了しましたが７月に入ってから感染拡大傾向の懸念もあり再び健康チェックを施行することになりました。

入院予定の患者は PCR 検査を受け陰性を確認し入院しており、また面会者については病棟への入室は制限されております。当院では新型コロナウィルス患者の受入をしておりますが専用病棟で診療し徹底した感染対策をとっております。

＜リハビリテーション部では＞

リハビリ部の方針として新型コロナウィルス陽性患者のリハビリは行っておりません。外来患者については基本中止とし入院患者はベッドサイドで対応しております。ADL 動作指導など運動療法室を使用する場合は部屋の換気や他の患者と密とならないよう対応しております。リハビリ実施中も患者、セラピストのマスク着用、入室前後の手指消毒、使用したプラットーホーム、平行棒など器具の消毒と感染対策を徹底しております。また当部ではがんリハ患者も多く、免疫力が低下しクリーンルームでリハビリ施行することもあり、各担当者がより一層感染防止に努めております。

当部のスタッフルームは窓もなく狭小スペースですが、机は壁向きの設置のため対面で話すことはありません。昼食時が一番密になりますが時間差で食事をして密にならないよう工夫しています。カンファレンスについても今までの全員参加から、代表者のみの変更や Web での審議など人が集まる状況は避けております。

執筆しているこの時期、東京では感染者２００人超えが連日続いており、隣県の山梨においてもその影響が及んでくるか非常に心配です。はやく有効な薬剤やワクチンができることを切に願います。

山梨県立中央病院

リハビリテーション部
雨宮　直樹

当院は県内唯一の第１種感染症指定病院であり、高度救命救急センターを有する三次救急医療機関であることから、新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19）の受け入れおよび治療提供はもちろんのこと、山梨県内の診療体制の途絶を引き起こさないよう、職員の感染対策の徹底が求められています。

この未曾有の COVID-19 に対する感染拡大への予防策には正答がなく、どの職場でも感染対策に悩み、苦しんでいると思います。今回は当院での感染対策の取り組みをいくつか紹介いたしますが、少しでも参考にしていただければ幸いです。

まず、病院全体の取り組みとして、職員対象に体温モニタリングシステムが導入されており、個々が入力した体温データから、職員一人一人の標準体温を算出し、出勤前の検温にて0.3℃以上の高値が出た場合、事前に上司に報告するといったシステムが構築されています。データについては健康管理室にて一括管理され部署毎での経時的な推移もフィードバックされています。

また、これまで集合開催していた、会議や学習会については、ZOOM 等の ICT を用いた形式に移行しており、職員の３密を避ける取り組みを強化しています。

リハビリテーション科においても、スタッフ間や患者間の３密を避けるため、スタッフルーム内のデスクや治療机へのパーテーション設置、リハ室利用人数の制限、外来と入院患者のゾーニングなどを行っています。また、スタッフの感染予防策として患者状況に応じたガウン、フェイスシールド、ゴーグル、手袋等の個人防護具の着用の徹底や、職員の知識の統一を図るための科内マニュアルの作成を行いました。

さらに、３密対策や有事のリハビリ機能の完全停止を避ける目的として、通常勤務体制であった平日勤務を土日祝日勤務のシフト制にし、医療の質は保ちつつ、一日の出勤人数を制限させるような取り組みも導入してきました。

今後も当院では、職員一人一人が“感染しない、感染させない”意識を持ち、院内感染ゼロを目指し、様々な取り組みを行っていきたいと思います。

最後になりますが、山梨県理学療法士会では特別委員会として COVID-19 対策委員会が新設され、７月の理事会において私が同委員会の委員長を仰せつかりました。今後は感染症に関する最新情報やガイドライン等の情報発信、各施設での取り組み事例の紹介、学習会開催や情報共有の場の提供など、士会員の皆様に少しでもお役に立てる取り組みが出来るように尽力してまいりますので、よろしくお願いいいたします。

「新型コロナウイルスにまつわる教育現場の大改革」

case 01 ～ 帝京科学大学では ～

帝京科学大学　医療科学部　理学療法学科
学科長　中山　彰博
相原　正博

まずは、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）が拡大する中、医療の最前線で眼前の患者のために立ち向かう医療従事者の皆様に感謝申し上げます。COVID-19 は、教育現場にも大きな影響を与え続けております。帝京科学大学東京西キャンパス（以下、本学）は、流行地域から通学する学生や職員も多く、学内での感染リスクを回避するため、４月以降原則、学生の学内入構は禁止としております。そのため、全授業を非対面型授業（双方性型アプリケーション「Zoom」や「Teams」などを用いたオンライン授業）で実施しております。

COVID-19 の影響により、本学ではこれまでにない新たな４つの課題が生じております。１つ目は、「学生の経済的負担増加」です。非対面型授業では、インターネット通信機器の準備が必要となります。本学では、学生の経済的な支援も含めて“PC の無償貸与”を行っております。２つ目は、学内での対面授業における感染症対策を含めた新たな教育体制の構築です。非対面型授業では対応できない学内での「実習系科目」の実施に向けて、本学では、文部科学省作成の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等に基づいた対面授業における新たな感染症対策マニュアルを作成し、“学生の安全を第一”に鋭意準備を進めております。３つ目は、学外での「臨床実習」の在り方です。４月以降、実習施設の医療体制が緊迫した状況となったことから、実習の受け入れが困難である連絡が相次いだ状況となりました。本学では、実習施設や期間の変更など様々な可能性について検討しましたが、COVID-19 の新規感染者数が収まる兆しのない現状では学外での臨床実習の実施は困難と判断し、厚労省・文科省通知に準じた学内実習プログラム（紙面事例を通じての理学療法臨床推論・模擬患者演習・臨床現場の理学療法士による WEB 指導など）を計画し、実施しております。４つ目は、学生の対面コミュニケーション機会が減少していることです。本学では週１回程度のオンライン面談を実施しております。その中では、どのような環境のコミュニケーションであっても「人としてのつながり」や「心の寄り添い」は同じであると考え、学生にはコミュニケーション基本技術である「傾聴力」の大切さを教示しております。

最後になりましたが、COVID-19 が猛威を振るう中本学学生教育にご配慮をいただき、臨床現場の先生方に改めまして感謝申し上げます。引き続き、社会からの要請に応えられる理学療法士養成に向けて教員一同、励む所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

case 02 ～健康科学大学では～

健康科学大学　健康科学部　理学療法学科
学科長　高村　浩司
坂本　祐太

平素より本学の教育研究へのご協力、ご理解いただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウィルスによる影響は本校においても多大であり、様々な弊害が生じております。拙文ではございますが、本学の状況についてご説明いたします。

本年３月の文部科学省通達を受け、本学での前期科目はネットワークを介した遠隔授業といたしました。「課題を提示する講義」を主としながら「同時双方向型授業（所謂オンライン授業）」への移行を目標に、学生・教員共にオンライン授業のスキル獲得をいたしました。７月現在では、同時双方向型授業と最低限の実技を開講し、後期の実技科目は３密回避を前提として平時並みに開講する予定です。この時期での対面授業には様々な意見が出ておりますが、本学では理学療法の基本的能力の獲得に実技科目は避けて通れないと認識しております。そのため、学生の体調・行動歴の管理、標準予防策の指導、３密回避、実技ペアの固定など考えうる対策を講じ実施しております。

臨床実習では、多くの施設より総合実習（４年生）辞退のご連絡をいただきました。４月には急遽実習の一部を学内実習に置き換え、実習施設の方々にご迷惑をかける結果となりました。学生・保護者・実習施設への聴取を重ね、短縮した実習等の代案を検討しておりましたが、４年生の学修の平等を担保した学外実習は不可能との結論に至り、今年度の総合実習は付属クリニックのみで計画しております。

上記以外にもコロナ禍の対策すべき課題は多く、新入生の交友関係の形成、授業内容の変更と質の担保、今年度の臨床指導者講習会の中止等がございます。本学としても、感染状況、国や県の基準と照らし合わせながら、学生のよりよい学習環境の構築を継続していく所存です。末筆となりますが、医療・介護従事者の皆様のご健勝をお祈りいたします。

定期総会風景

活動報告

社会局 スポーツ理学療法部発

令和２年１月２８日（火）、山梨大学医学部臨床小講堂にて第７１回スポーツ理学療法勉強会が開催されました。今回は元山梨大学医学部付属病院の小尾伸二先生が講師に招かれ、「スポーツ現場における急性対応の実際＜症例検討＞」をテーマにご講演いただきました。先生は長きにわたりスポーツ理学療法部長としてご活躍され、今回はその経験から現場で役立つ症例をご提示していただき、診方や実際の対応方法をわかりやすく解説していただきました。

私自身、スポーツ理学療法部員として現場で急性対応をする場面があり、様々な事態を予測し各種物品を準備して対応していますが、時に不足することもあります。今回の症例報告の一つにダンボールでシーネの代用をするという話もあり、現場では創意工夫しながら対応しなければならないと改めて感じました。今回の勉強会はスポーツ現場のみならず、臨床にも活かせるところがあると思いました。ルールから逸脱しない中で固定観念に捉われないサポートができるよう、努めていこうと思います。ありがとうございました。

韮崎市立病院　医局リハビリテーション科　土橋　興太
（★お問い合わせ先：社会局スポーツ理学療法部　小林幸一郎
山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部　E-Mail kokobayashi@yamanashi.ac.jp）

第２３回日本臨床脳神経外科学会は
誌上開催･WEB 開催となりました。
詳細は学会ホームページを
ご覧ください。

お知らせ Information

事務管理局からのお知らせ

◆ 会員情報の変更手続き（異動、休会、退会、会費納入方法等）について

（公社）日本理学療法士協会 HP の「マイページ」から手続きを行ってください。
マイページにアクセスするには、協会が各個人に発行した ID とパスワードが必要です。
「ID やパスワードがわからない」、「そもそもインターネット環境が無い」という会員の方は、お手数ですが日本理学療法士協会まで問い合わせをお願いします。
（公社）日本理学療法士協会　TEL：03-5843-1747

＊会員情報につきましては、（公社）日本理学療法士協会の会員管理システムにて一括管理されているため、県士会単位では対応ができません。

◆（公社）日本理学療法士協会の年会費割引制度の案内

日本理学療法士協会には年会費の「育児休業割引」、「シニア割引」、「海外会員割引」があります。詳細は日本理学療法士協会 HP「年会費」をご覧ください。

◆ 会員の慶弔があった場合について

一般社団法人山梨県理学療法士会　慶弔規定に基づき対応いたします。
山梨県士会 HP の「お問い合わせ」のページ内にある「会員慶事通知フォーム」、「会員弔事通知フォーム」からお願いします。

◆ 事務管理局への問い合わせについて

山梨県士会 HP の「お問い合わせ」のページ内にある「事務管理局メールフォーム」からお願いいたします。
＊インターネット環境がない会員の方は、
山梨県立あけぼの医療福祉センター　療法科内　担当：有泉
TEL：0551-22-6112（療法科直通）　までお願いします。

重要なお知らせです

◆ メール配信について、アドレス登録のお願い

今後士会では研修会の通知や情報提供を順次メール配信に移行します。
会員の皆様には、アドレス登録についてご協力いただきますようお願いいたします。
詳細は過日送付しました、メール配信アドレス登録のお願いをご覧ください。
・登録メールアドレスは１会員１アドレスでお願いします。
・一度登録したアドレスを変更する場合は、登録解除フォームにて登録メールを解除後に、新しいアドレスを登録しなおしてください。

メール登録フォーム URL：
http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showRegisterForm?gpid=rpnONZthgtfUqrwtLaiOgzf

登録メール解除フォーム URL：
http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showUnregisterForm?gpid=rpnONZthgtfUqrwtLaiOgzf

\ 途絶えることのないバトンを君に /

リレーエッセイ

『リレーエッセイ』とは…

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい（ただし、誹謗や中傷の内容は除外します）ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

以前のSupportersにあった「会員のひろば」との違いは、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

リレーエッセイ

Part38-1

南部町役場　金森 永次

行政職員つながりということで、山梨県庁の白倉ゆかり先生からご紹介いただきました、南部町役場の金森永次です。

私は、静岡県富士宮市に住んでいて、車で40分ほどかけて通勤しています。現状では感染症対策のため事業開催が従来通りに行えておりません。そこで、町のスポーツセンター職員と共同でフレイル予防のための体操を作成しました。各世帯に設置されているFM告知端末にて毎日お昼の10分間音声による放送を実施しています。また、町ホームページからも体操の動画を配信しましたので、良かったら皆さんもご覧ください。そして、またかつての日常を取り戻せた折には、自然豊かな、この南部の地へ遊びにお越しください。

最後に、私と同じく他の市町村にもリハビリ専門職が介護予防や健康増進など行政職員として携わる人が増えることを願っています。

次は、お近くで、身延山病院の鈴木由美先生にバトンをつなげたいと思います。

原稿を募集しています！

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など　3. 体験記など　4. その他

注意　内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

※ 第157号発行は、2021年3月を予定しています。

原稿の締め切りは

1月中旬です。

● 問い合わせ先：広報局 会報部　宇月正明
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
TEL：0553-26-4126　FAX：0553-26-4366
E-mail：kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp

リレーエッセイ

Part38-2

大月市立中央病院　馬場 大介

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院の小林公司さんから依頼を受けました、大月市立中央病院の馬場大介です。

みなさんは大月市のかがり火市民祭りをご存知ですか？毎年8月に市民総参加で行われ、大月市最大の夏祭りで大月阿波踊りをはじめ、民謡、神輿、夜店など盛りだくさんのお祭です。私が大月にきたのは昨年のことですが、入職してすぐ同僚から「8月のお祭りで阿波踊りをしますよ」と言われ、お祭りの存在を知らないうえに阿波踊りなんてしたことないと戸惑いました。お祭りでは県内外から「連」という踊り手の集団が集まり、阿波踊りの本場徳島からの参加もありました。数回の練習で踊れるか不安でしたが、当日は市民の方々に盛り上げていただき楽しく踊ることができました。今年のお祭りは残念ながら中止となってしまいましたが、次回開催される際はみなさんも大月に遊びにいらしてください。

次回は健康科学大学の坂本祐太先生にバトンを渡します。よろしくお願いします。

編集後記

7月の豪雨災害にてお亡くなりになられた方に心よりご冥福のお祈りを、また被災された方へ心よりお見舞いを申し上げます。そして全ての医療・福祉に従事している方々と、お忙しい中、快く執筆をしていただいた諸先生方に感謝申し上げます。

さて人類は新型コロナ克服のため、2021年に稼働予定だったスパコン「富岳」が部分稼働。一方では3密回避のため Web会議を経た私。ぼんやり「時間と空間の歪み」を感じた。移動時間が無いのに複数の場所にいる人々を一つの画面に結びつける。相対論か?確かに電気信号を光に変え光子を使う、また光子使用のため量子力学的制御が必要。この2つの学問を聞くと「ブラックホール」も頭に浮かぶ。いずれ Webはブラックホール化し蒸発か?? だめだ。これではブラックホール情報パラドクスに陥る。考えるのを止めよう…

また会報誌発行の際には引き続きご協力お願いいたします。　宇月　正明

【 発　行 】　一般社団法人　山梨県理学療法士会
【 代　表 】　小林　伸一
【企画・校正】　宇月　正明　古澤　淳一　進藤　圭一郎　立澤　俊貴　一瀬　智之
【編集・印刷】　株式会社 たけまる
【 会 報 部 】　〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
医療法人　景雲会　春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
TEL：0553-26-4126　FAX：0553-26-4366
E-mail：kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp